

今週の相場はどうなる？

今週の相場はどうなる？

作成者：山根亜希子

○8月3日～

欧米の4-6月期のGDPもひどい数字となりました。予想はされていましたが回復にどれだけかかるか不明な上にコロナの第2波が襲ってきています。

期待で上がった株価が調整入りとなれば為替相場も動きそうです。

先週あたりからドル安の動きになっていますがドル安トレンドが継続するかどうかポイントになりそうです。

<ドル/円>

ドル/円は104円あたりまで急落した後、106円手前まで戻しました。

早期に106円台のせとまらない限り、再度下落リスクがあります。

106.6円あたりの抵抗を超えるまでは下値方向へのリスクを意識したいです。

<気になるクロス円>

クロス円はユーロ、ポンドなどが大きく上昇しました。ドルに対して欧州通貨が上がったことが原因です。トレンドとして、欧州通貨>ドルの流れが継続するかどうかですが米中の対立が激化すれば避難先として欧州が選ばれる可能性が高まりそうです。

*クロス円とは円との通貨ペアの総称：〇〇/円というような通貨ペアのことです。

<ファンダメンタル？>

日本では1-3月期GDP（改定値）、7月東京都都区部消費者物価指数などがあります。

米国では7月製造業PMI（改定値）、7月ISM製造業景況指数、7月ADP雇用統計、6月貿易収支、7月サービス業PMI（改定値）、7月総合PMI（改定値）、7月ISM非製造業景況指数、前週分新規失業保険申請件数、雇用統計などが発表されます。

欧州ではドイツとユーロ圏で製造業・サービス業PMI（改定値）、ユーロ圏で6月小売売上高、ドイツで6月鉱工業生産などがあります。

ほかには、オーストラリアと英国で政策金利、英国で英中銀資産買取プログラム規模、英中銀金融政策委員会（MPC）議事要旨、カナダで失業率の発表などがあります。